

## 「オアシス」が自分からできる児童生徒の育成

ねがい

### 〈目的〉

集団の一員としての自覚を高め、集団生活における共感的な人間関係を育み、自己有用感をもたせるために、校区内の小中学校でオアシス運動に取り組むことにしました。

つながり

### 〈内容〉

#### ● 中学校区全体で取り組むオアシス運動

校区内の小・中学校で「オアシス運動」の幟を立て、児童会や生徒会役員を中心としてあいさつ運動を行い、あいさつの輪を全校に広げています。



【オアシス運動】

#### ● 校区内小・中学校のリーダー研修会

中学校のリーダー研修会を夏休みに実施しました。

各小学校の代表者と中学校の生徒会役員がそれぞれの学校の状況や取り組みを発表した後、小・中学生が協力してうどん作りを行いました。

この研修会で得たことをもとに、他校のよさを取り入れた生徒会活動や児童会活動を行っています。



【リーダー研修会】

【うどん作り】

#### ● 自己有用感の育成をめざした取り組み

児童生徒のよさ見つけについての研修を行ったり、異学年交流による読書や児童会役員によるジャンケン大会を行いました。



【よさ見つけ研修会】

【ペア読書】

【ジャンケン大会】

高まり

### 〈成果〉

児童のあいさつのがんばりに対してクラスを表彰したり、毎朝のあいさつ運動を継続して実施したりすることによって、自分からあいさつする児童生徒の数が増加しています。また、児童会や生徒会の取り組みに対し、肯定的評価を与え続けた結果、10月のアンケートで9割近くの児童生徒が「学校が楽しい」と答えています。